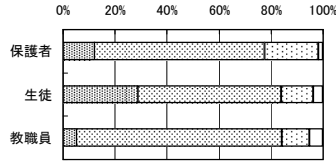


☑ 4-そう思う ☑ 3-どちらかといえば、そう思う ☑ 2-どちらかといえば、そう思わない ☐ 1-そう思わない

学校教育目標

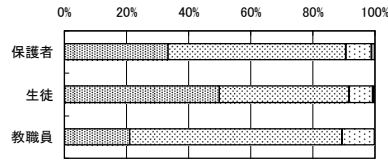
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



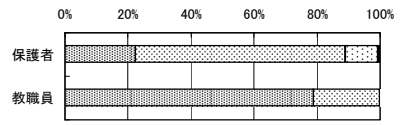
2 意欲的な学校生活

子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

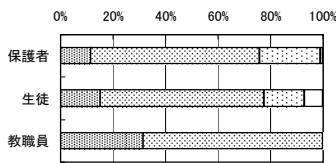


【学校から】「教育方針・目標の理解」については、調査対象三者とも肯定的評価が約8割であり、とりわけ生徒の評価は、昨年と比較して1割の増加であった。また「意欲的な学校生活」については、調査対象三者とも肯定的評価が約9割であった。とくに昨年度教職員からの評価が約1割だったものが大きく伸びたのは、生徒達の生活態度が学校内でも向上したことをあらわしていると考えられる。「教師の連携協力」については、保護者、教職員共に肯定的評価が増えた。教職員においては肯定的な評価が100%となっている。生徒指導等の課題に対し、教職員が心一つにして取り組んでいることと表れと考える。

教科指導

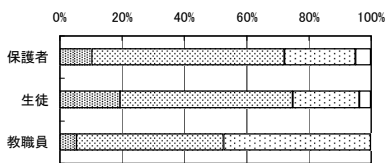
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

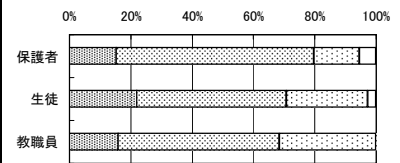
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



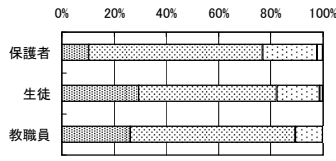
【学校から】「授業づくりの工夫」について、保護者からの意見は昨年度と大差はないが、生徒は6割から8割、教職員は9割から10割へと伸びた。校内での学習環境が整いつつあることを示す結果と考える。「意欲的な学習態度」については、保護者の肯定的評価が昨年度5割から7割と伸び、教職員は1割から5割と大きく伸びた。生徒たちが学習に取り組む様子について、保護者からも理解されつつあると考える。

【学校から】すべての調査対象の肯定的評価が7割～8割と高い評価を得た。特に教職員の評価が昨年度2割から大きく伸びたのは、今年の生徒たちの活動が充実してきたことと表れと考える。

道徳教育 心の教育

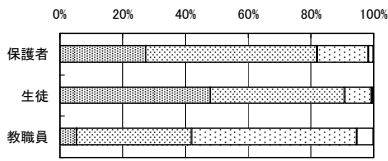
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

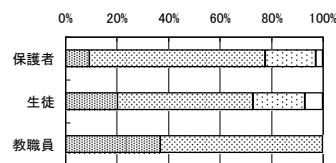


【学校から】「道徳、心の教育の充実」については、すべての調査対象が、約8割の肯定的評価であった。特に教職員の評価が昨年度と比べ3割以上伸び、心の教育について更に充実した指導がなされていることが伺える。「あいさつ・礼儀の励行」については、保護者、生徒の肯定的評価が8割前後であった。教職員の肯定的評価は4割と低いものの、昨年度は0割であったことを考えると評価できると考える。今後更に生徒の心を耕し、道徳性を高める教育活動を実施していきたい。

人権教育

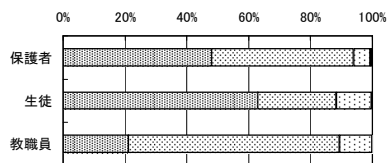
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

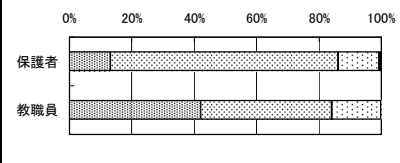


【学校から】「一人一人の生徒の尊重」については、保護者の肯定的評価は8割で昨年と変わらないが、生徒の肯定的評価は7割で昨年比1割上昇、教職員は肯定的評価が10割で昨年比で5割上昇しており、教職員の取り組みが生徒にも伝わりつつあると考える。「友だちへの思いやり」については、調査対象すべてについて肯定的評価が9割と高い。特に教職員の肯定的割合が昨年と比べ8割以上伸びており、学校生活において生徒たちが仲良く過ごしている現状をあらわしていると考えられる。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

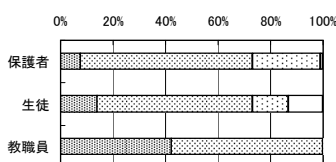


【学校から】保護者・教職員ともに肯定的評価の割合は昨年度とあまり変わらず高い評価を得ており、評価できる。今後も啓発に力を入れて取り組み、ともに学び成長する環境づくりを進めていきたい。

生徒指導 教育相談

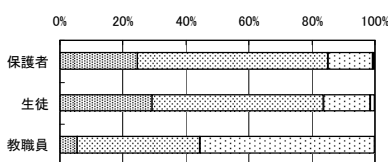
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



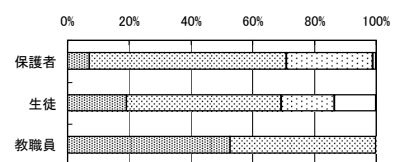
13 規範意識

子どもは、規則やマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



【学校から】「生徒理解」については、保護者・生徒の肯定的評価は全体で7割、教職員からは10割であった。教職員と保護者・生徒との意識の差は3割と大きく、これを埋めるため、今後も教職員の努力が必要と考える。「規範意識」については保護者・生徒の肯定的評価は8割を超えているが、教職員からの評価は昨年度調査より増えたもののまだ低い結果である。生徒の実態を保護者へ知らせるとともに、保護者と連携して生徒指導に取り組む必要があると考える。「いじめや問題への対応」については、保護者・生徒の肯定的評価は7割と高評価ではあるが、十分ではない。また保護者・生徒と教職員の肯定的評価に2割以上の開きがある。保護者との連携を一層図るとともに、生徒への丁寧な対応が必要とすると考える。

健康教育 安全

15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 90% |
| 生徒 | 70% |
| 教職員 | 90% |

16 体力向上

子どもは、すすんでスポーツなどをしていると思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 30% |
| 生徒 | 60% |
| 教職員 | 30% |

【学校から】「安全と事故防止」については、保護者・教職員ともに肯定的評価が9割、教職員については10割を示した。今後も生徒の安全と事故防止に努めていきたい。「体力向上」については、生徒・保護者・教職員すべて7割の肯定的評価であった。生徒・保護者については昨年度も同様の評価であったが、教職員の意識は昨年度調査3割から大きく増加している。行事や日頃の体育の授業参加状況がよくなってきたことへの評価であるとする。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、体育大会や文化・学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 80% |
| 生徒 | 80% |
| 教職員 | 80% |

【学校から】生徒・保護者からの肯定的評価は例年8割程度と変わらないが、今年の特徴として教職員の評価が3割から8割へと大きく伸びたことがあげられる。生徒たちが積極的に行事へ参加していることが、教職員からも評価されたとする。

学校環境

18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 90% |
| 生徒 | 90% |
| 教職員 | 90% |

19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 90% |
| 生徒 | 90% |
| 教職員 | 90% |

【学校から】「環境の整理・美化」については、保護者、生徒、教職員いずれも9割以上と高評価を得た。また施設・設備の安全管理についても高い評価を得た。これは今年、事務部を中心に花壇整備や清掃活動が積極的になされた結果と考える。今後は生徒が主体となった環境整備等がなされるよう指導を充実させたいところである。

情報の公開・発信

20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 10% |
| 教職員 | 10% |

21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 90% |
| 教職員 | 90% |

【学校から】「学校の予定等がわかる情報発信」については、肯定的評価が保護者について1割程度減少した。調査した時期が昨年度はインフルエンザ等の文書を多く発信しており、今年はそれに比べ発信数が少なかったことが原因かと考える。「教育活動への参加」については、今年も保護者からは7割を超える肯定的評価であった。教職員の評価も9割になっており、保護者と一体となった教育活動が展開されていることが評価されたとする。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

| 対象 | 肯定的評価 |
|-----|-------|
| 保護者 | 80% |
| 教職員 | 80% |

【学校から】保護者からの肯定的評価が8割弱と若干ではあるが増えた。教職員においては10割が家庭・地域との連携協力ができていると回答しており、教職員の働きかけが、徐々に保護者にも伝わってきていると考える。

来年度の具体的な取り組みについて

今年「意欲的な学校生活」「意欲的な学習態度」「あいさつ、礼儀の励行」などを中心に、評価が大きく伸びた。特に教職員からの評価が大きく伸びており、これはまさに生徒たちの学校生活において学習面・生活面で改善が見られ、教育環境が回復してきていることを表しているとする。また生徒たちの評価の向上は、生徒たちが学校生活に充実感をもってきていることの表れと考える。

本校は昨年度より、学校、家庭、地域、関係諸機関（教育委員会や警察、児童相談所等）と連携し、学校教育の充実に取り組んできた。特に生徒や保護者との信頼関係の構築に力を入れ、青少年健全育成協議会、自治会、民生委員会、保護司会等と積極的に連携を図り、健全な子どもを育てる意識を広げる支援をお願いしてきた。また関係諸機関とは、個別の相談はもとより、連携組織としてネットワーク会議を年2回開き、生徒の健全育成について、多角的なアプローチを図ってきた。加えて小・中学生期の子どもには父親の存在が欠かせないという生徒指導上の実態から、小中連携した「おやじの会」を発足し、校内外の整備作業はもとより、行事等における巡回生徒指導等多くの場面で活躍いただいた。今後更に各団体との連携を密にしながら、生徒たちの健全育成に努めていきたい。

また校内での教育活動について、生徒指導面の落ち着きを取り戻しつつある今こそ、充実を図る絶好の機会と考える。そこで下記の2点を中心に据え、今後本校教育活動の充実を図ってきたい。

- 1 学力充実
 - (1) わかる授業の推進…授業研究会の充実を図り、教師の指導力向上をめざす。
 - (2) 家庭学習の推進…宿題等家庭学習を推進することにより学習習慣を定着させる。
- 2 生徒が主体となる活動の充実
 - (1) 生徒会活動の充実…生徒会を中心とした活動を充実させ、その様子を積極的に発信する。
 - (2) 行事への積極参加…教師による運営から生徒自ら発案・計画・活動する行事へ転換を図る。

学校関係者評価

- 授業が始まり生徒たちが教室に入る様子を見ると、昨年度に比べ落ち着きを感じられた。この雰囲気の変化が、3年生の進路において生徒の意に沿う結果が増えたという状況につながっているのではないかと感じる。しかし学習に取り組む様子については、真剣に取り組んでいる生徒もいれば、私語が多く集中できない生徒等見受けられる。全員が集中して学習に取り組むための工夫・働きかけが、今後も必要であると感じる。
- すれ違う生徒たちのあいさつが素晴らしい。ほとんどの生徒たちが、気持ちのいい挨拶をしてくれる。今後も指導を続けてもらいたい。
- 登校時に許可なく自転車に乗ってくる生徒がいる。安全面からも指導をお願いしたい。また下校時などに喫煙をする生徒がいることは大変残念である。禁煙教育など健康面についての指導を充実させるとともに、規範意識の醸成を図ってほしい。
- 登校できていない生徒が数名いることが心配される。学校内での課題や家庭内の問題など様々な要因があるだろうが、今後も家庭と連携しながら、登校について改善がみられるよう働きかけをお願いしたい。
- 花壇が整備され、花がきれいに咲いている様子に感じた。また校地北面の木々が伐採され、校舎内が明るく感じる。学習環境が整ってきていると感じる。